

町のうぎ	
本籍数	4,776
本籍人口	15,139
世帯数	3,834 (3,852)
住民登録人口	14,163 (14,209)
内	{ 男女
	6,830
	7,333
1月1日現在	
() 内は12月1日現在	

天王町報

発行・秋田県天王町役場 TEL (天王) 1. 42. 135

編集・企画室 印刷・一日市印刷 電話 (018875) 2038

昭和47年度決算による交際費

町村名	歳出合計 千円	町村長交際費 千円	48.4.1現在 住登人口 人	住民1人当り 町村長交際費 円
五城目町	873,326	3,499	17,807	196.49
昭和町	439,481	1,949	10,296	189.26
八郎潟町	396,597	1,299	8,188	158.64
飯田川町	346,103	1,491	5,481	272.03
井川村	462,087	1,398	6,870	203.49
若美町	495,979	2,715	9,811	276.73
天王町	709,167	1,250	13,826	90.40

昭和四十七年度の決算書に基づく、南秋田郡各町村長の交際費と昭和四十八年十二月末日現在の給与を町民各位にご報告申し上げます。

人口、財政規模等を比較の上



天王町長 藤原慶三郎

交際費と給与

南秋町村長

ご検討いただければ幸いです。ご存じのことば、宣伝よりも町政に取り組み基本的な心がけと現実の数字とで、いかにして最少の経費で行政効果をあげるかが、町民の期待にこたえるすべてであると確信し、今後一層の努力をいたす覚悟です。

町民各位の暖かいご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

特別職報酬額調

(昭和48年12月末日現在)

町村名	町村長	助役	収入役	教育長	議長	副議長	議員
五城目町	205,000	153,000	135,000	134,000	46,000	42,000	40,000
昭和町	210,000	160,000	148,000	140,000	46,500	42,000	39,000
八郎潟町	195,000	145,000	140,000	130,000	40,000	37,000	36,000
飯田川町	225,000	170,000	158,000	150,000	46,000	42,000	40,000
井川村	230,000	170,000	160,000	145,000	46,000	42,000	40,000
若美町	220,000	170,000	160,000	150,000	52,000	49,000	42,000
天王町	200,000	150,000	140,000	132,000	43,000	40,000	38,000

▼住民のナマの声を聞いてよりよい町政を (鶴沼台分館にて)



住みよい 町づくりを 各地で町政懇談会

町民のナマの声を町政に反映させ、住みよい町づくりをしようと、各地で町政懇談会を行っています。

いままでも開催された部落は、十二月十日に天王、同十三日塩口、一月十一日出戸新町、同十三日三軒屋、同十七日鶴沼台、同二十一日中羽立の六部落。

当日は、町長、助役の他、各課室長が出席、質問に答えた。会では、まず町長が、町づくりの現状と方向について概要を説明、その中で、四十九年度は非常に苦しい財政見通しなので緊急を要する事業から進めたいように、事業の選択を充分に行う。また、基本方針は、いままでどおり、産業の振興、生活環境の整備、社会福祉の充実、教育の振興の四本柱を進める……と、基本的な考え方をのべていた。

引き続き質疑応答に移り、道路、農業、環境整備、教育問題などの質問が出されたが、①除雪、②道路補修、③道路計画など、道路問題が一番多く、一般的な答えとして町では、①除雪は、幹線を中心に日常生活上で大切な道路は積極的に行っている。②必要に応じて、十分な配慮をして補修を行っていき、③道路網の整備も計画的に進めていく……と答えた。

12日から申告始まる

町、県民税

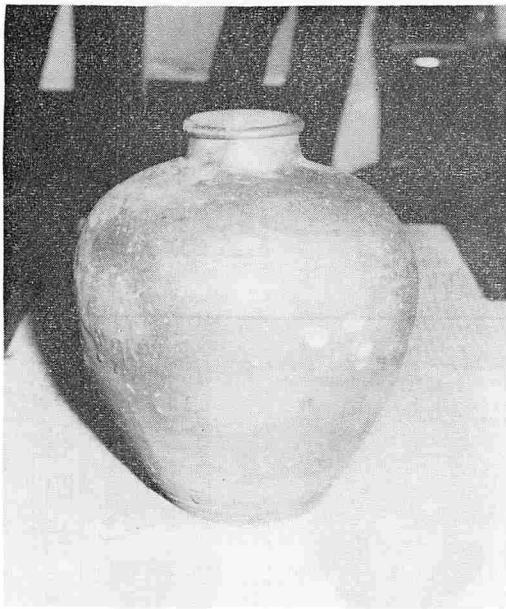
二月十二日から町県民税の「所得申告指導」が始まり、二月十五日は、少額営業の事業税申告が全町を対象に町公民館で行われます。

昭和四十九年一月一日現在で本町に住所を有する人の他、住民登録の有無にかかわらず、実質的に生活の本拠が本町にある人も申告義務者となります。申告には、世帯主がこれられない場合でも世帯主にかわる人が必ず出てください。三月十五日までに申告をしないときは、所得認定をうけ、大変不利になりますので、積極的に申告するようお願いいたします。なお、確定申告をした人は、町県民税の申告は必要ありません。

申告指導日程

月日	対象地域	場所
2.12	追分・牛坂	追分分館・牛坂分館
13	北野・追分西	北野児童館
14	上出戸全域	上出戸分館
18	出戸新町・細谷	出戸新町分館・細谷分館
19	下出戸全域	下出戸分館
20	蒲沼・児玉	蒲沼分館・児玉分館
21	二田8区~10区	二田児童館
22	二田11区~鶴沼台	小野克太郎宅
25	中羽立・渋谷	中羽立分館・渋谷分館
26	大崎1区~2区	三浦三蔵宅
27	大崎3区~5区	三浦由蔵宅
28	羽立1区~2区	羽立分館
3.1	羽立3区~4区	羽立分館
4	塩口全域	塩口分館
5	江川1区~2区	江川児童館
6	江川3区~4区	江川児童館
7	本町・下町・西荒町・東荒町	戸主会事務所
8	旭町・神明町・上荒町	戸主会事務所
11	曲町上・曲町下	天王本郷分館
12	二田1区~7区	町公民館

※時間は各日も午前9時30分から午後3時30分までです。



カメ



このようなものはカメとかツボとか呼んでいるが、家庭の日用品でスエキに釉(ツグスリ)をかけたようなもの。ゲテモノの雑器であるが仲々面白い味がある。このようなものは捨てないで大小にかかわらず公民館にご寄附ねがいます。

家族そろって 交通災害共済へ

交通安全は、私たちの強い願いです。しかし、毎日のようにいたましいニュースが、私たちの日常生活に暗い影を落としています。本町でもことしに入ってから、すでに事故四件と重軽傷者七人を数えています。皆さんを交通事故から守るとともに、不幸にして交通事故にあった人々を救済するために県内七市六十町村で「交通災害共済組合」を組織しています。

年間三百円のかげ金

本町では、四十八年四月から先月の二十二日までに共済金を受けた件数は十四件で、金額にして百四十一万円にもなっており、かけ金を六十三万九千円オーバーしています。この災害共済のかけ金は、年間ひとり三百円で、傷害の程度により、五千円から五十万円まで支給されます。

ただいま、四十九年度の加入申し込みを役場総務課で行っていますので、家族そろって加入しましょう。

物を大切に

運動に参加を

近年、産業、経済の飛躍的な発展に伴い、私たちの生活水準は上昇し、多様化しましたが、

二月十七日の日曜日に二十一回目の「家庭バレーボール大会」が行われます。大会は、午前九時から町公民館体育館と天王小体育館で、女子が若妻と主婦、男子が青年と壮年の四部にわかれて行います。

チーム編成

資格は、男女とも町内に居住している方(未婚者は出場資格なし)で、女子チームの若妻の部は、満三十歳以下、主婦の部が三十一歳以上、男子チームは青年の部が三十五歳以下、壮年の部が三十六歳以上で、各部とも正選手は八名、補欠三名で編成してください。また、出場はひとり一チームに限られ、同一地域内(部落)で編成してください。年

家庭バレーボールは17日に

一四部門で熱戦を期待一

抽選のための監督会議は、二月十三日の午後六時から町公民館で行います。申し込みと監督会議申し込みは、二月十三日(水)まで、メンバー表二通を添えて町公民館事務局へ届けてください。電話申し込みは受け付けられないことになっています。表彰 各部とも、第三位まで表彰し参加賞もありま

27日午後2時開通

電話の自動化

いよいよ2月27日午後2時から、自動電話が開通することになりました。

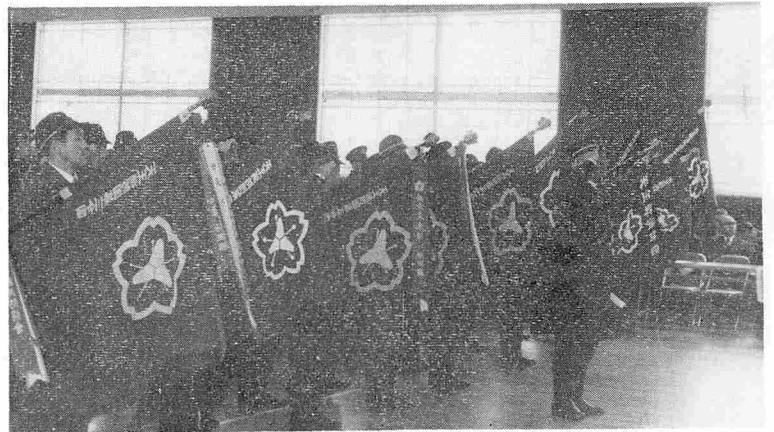
市外局番は 018878番 です。

(旧、018852)

通話料金や電話のかけ方についての説明会は、2月18日から町公民館で行われます。

有功章に吉田氏

1月8日に出ぞめ式



▲町内十二の分団から約二百五十名の団員が勢ぞろい

団員の安全と無火災を祈願する新春恒例の町消防団出ぞめ式が一月八日、町公民館に町内十二の分団から約二百五十名の消防団員をはじめ、県知事代理、町長、議会議長など、関係者多数が出席して行われた。

県知事表彰

●有功章

【第五分団】吉田理之助(分団長)

●二十五年勤続章

【第二分団】戸田資郎(班長)

鎌田金悦郎(同) 京谷金治郎(同) 柏崎辰夫(団員)

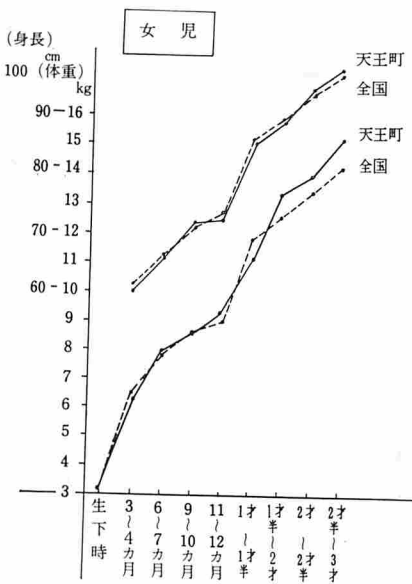
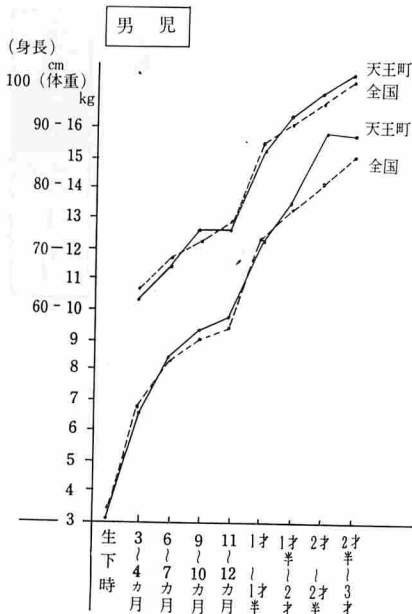
●二十年勤続章

【第二分団】沼田与七(班長) 【第五分団】吉田新一(団員) 【第八分団】加賀谷兼(同) 【第十分団】渋谷市郎(班長) 【第十一分団】菅生喜太郎(分団長)

消防協会長表彰

●十五年勤続章

【第二分団】石川次男(団員) 村山雷治(同) 石黒勝美(同)



発育にそった離乳食を

乳幼児検診の結果から

昭和45年から47年までの町の乳幼児検診の結果をまとめて離乳食のあり方について考えてみました。身体の発育の点で全国平均に比べると別表のようになります。(表参照) この表から、生後三〜四カ月

までは小さかった赤ちゃんも、一応ミルクや混合栄養で乳児期の後半にはもちなおしておりありますが、一歳代には離乳の影響もでてぐっと平均並みになり、二歳前半で、平均よりやや落ちていた体重が、後半から自分の意

- 優良団員表彰
 - 【第三分団】武田竹広(団員)
 - 【第七分団】桜庭金永(班長)
- 男鹿南秋支部長表彰
 - 【第一分団】伊藤良勝(団員)
 - 【第二分団】米谷洋一郎(団員)
 - 【第五分団】三浦勝行(団員)
- 男鹿地区連絡協議会長表彰
 - 【第二分団】戸田利幸(団員)
 - 【第八分団】佐々木信雄(団員)
- 五年勤続表彰
 - 【第一分団】菅井林一(団員)
 - 【第九分団】菅井林一(団員)
 - 【第十分団】加藤仁エ門(団員)
 - 【第十一分団】菅生喜太郎(班長)
 - 【第十二分団】菅原忠治(団員)
- 一般功労者表彰
 - 村山儀孝(天王)
 - 田仲俊治(同)
 - 戸田俊樹(同)
 - 石黒洋一(同)
 - 桜庭泰治郎(塩口)
 - 伊藤政治(江川)
 - 石井正勝(同)
 - 田村修一(同)
 - 真壁芳見(二田)
 - 佐々木栄治(下出戸)
 - 追分西住宅町内会

志で大人に近いものを食べることでできるようになって平均体重に追いつくといった傾向です。これは離乳の半ばと二歳前半の二つの時期に問題があるように思われます。理由としては、離乳開始の時期が一般に遅く、進め方もいかに遅いことと、歯が生えたとそろそろ大人と同じ消化能力があると思われ、大人と同じものをそのまま与えている現状であるということです。

赤ちゃんの発育にそった離乳食について、もう一度考える必要があるように思います。

犬の放し飼いが最近めだつています。犬はしっかりおきましよう。

善意ありがとう

羽立青年会(西村修三会長)と二田二区地域PTA(伊藤秀雄会長)では、町社会福祉協議会ヘクナマハゲで集まったおモチ10kg(羽立)と五千二百円(二田)を「恵まれない人たちに」と、寄せられた。

